

日本に来てびっくりしたこと

【ルエン通信:第1回(2022年7月)】

Xin chào!
(シン チャオ)
こんにちは!



中標津町地域おこし協力隊のレティルエンです。

中標津での生活を始めて1年2か月経ちました。いろいろなことを体験する機会が多く、日本人の方々と話すことも増えてきました。

さて、初めてのコラムは、日本に来た初日にびっくりしたことについて書きます。

日本に来て初めて住んだのは横浜市です。ベトナムの田舎で生まれ、日本のすべての物事に対して驚きました。

「駅と電車」



空港から学校の寮まで電車で行きました。駅は改札が多く、あっちこっちの方向から人々が早いスピードで歩いて来るのに驚きました。混んでいる電車の中では、スーツや地味色の服を着ている人がほとんどで、寝たり、本を読んだり、スマートフォンをいじったり…。ベトナムだとスリを警戒して寝てられません。



「カラス」



学校の寮がある駅に降りて歩いていると、「かあーかあ…」と聞こえて、見上げると木の上にカラスがたくさんいてびっくりしました。ベトナムでは都会でも田舎でもカラスを見たことなく、カラスがいるとあまりよくないことを連れてくるという噂もありますので一瞬怖かったです。なぜカラスがこんなにたくさんいるのか、不思議だなあと感じていました。

「日本の街並み」

初日に降りたのは小さな駅で住宅街でした。道や建物がベトナムと違って、見たことのない桜やいろいろな花が咲いているのがきれいで新鮮でした。今でも、毎年春に花々が咲くのを楽しみしています。

以上で、私の日本の初日でした。

日本に住めば住むほど驚いたことも増えてきて、面白いことや不思議なこともあって、また嫌なこともありました。